

令和元年 9 月 25 日時点

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<p>1 スポーツの推進</p> <p>①東京 2020 大会に向けた「オール三重」推進体制構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> カナダアーティスティックスイミングチームのキャンプ時に合わせて、「カナダ応援事業」を実施するとともに、カナダレスリングチームや英国パラスイミングチームの事前キャンプ時に合わせて交流事業を実施 東京 2020 オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて、県内市町や関係機関等の協力を得て、ランナー選定や各種行事の計画立案、広報活動等、本格的な運営準備を実施 事業費：28,118 千円 	<ul style="list-style-type: none"> 四日市市がカナダ女子体操チームの事前キャンプを受入（3月31日から4月4日） カナダアーティスティックスイミングチームの事前キャンプを受入（4月14日から同月25日） 伊勢市がラオスパラ陸上チームの事前キャンプを受入（7月26日から8月1日） 志摩市がスペインライアスロン連盟と事前キャンプに関する協定書締結（8月13日） 東京 2020 オリンピック聖火リレーに係る県内ルートや日程等を発表 [6月1日] 東京 2020 オリンピック聖火リレーに係る聖火ランナー（三重県実行委員会枠）を募集 [募集期間 7 月 1 日から 8 月 31 日] <p style="text-align: right;">【スポーツ推進課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> カナダレスリングチームの事前キャンプを受入（10月5日から同月9日） 英国パラスイミングチームの事前キャンプを受入（1月で調整中） 東京 2020 オリンピック聖火リレーに係る三重県聖火ランナー選定委員会の開催（10月18日） 東京 2020 オリンピック聖火リレーに係る聖火ランナーおよび詳細ルートを公表（12～1月頃） <p style="text-align: right;">【スポーツ推進課】</p>
<p>②競技力向上対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 2021 年の三重とこわか国体に向けて、ジュニア・少年選手の育成・強化、成年選手の獲得、練習環境の整備など、各競技団体の現状に即した効果的な強化対策を実施 三重とこわか国体の後も継続して三重県の競技スポーツを担う人材育成につなげるため、「チームみえ・コーチアカデミーセンター」の取組を充実 事業費：691,552 千円 	<ul style="list-style-type: none"> 高校運動部 32 校 69 部、ジュニアクラブ・運動部 15 クラブ、大学運動部、企業・クラブチーム 17 部を強化指定するとともに、全国・国際スポーツ大会で活躍し「チームみえ」の一員として「三重とこわか国体」での活躍が期待できるトップアスリート 7 名を強化指定し、その強化活動を支援 「チームみえ・コーチアカデミーセンター事業」の取組を継続 このうち、優れた指導者の養成のための講習などを中心とする「みえコーチアカデミー」については、第 2 期生 19 名を対象に 4 月以降、延べ 4 日間、計 19 コマの講習や演習を実施 また、専門スタッフを配置・派遣し指導体制の構築を図る「みえマルチサポートシステム」についても、競技・指導等の実情に応じて、4 月から順次実施 有力な大学運動部などに三重の魅力や強みを積極的に PR するなど、トップアスリートの獲得と県内定着に向け、競技団体、県体育協会とともに就職支援の取組を実施 <p style="text-align: right;">【競技力向上対策課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 強化指定した、高校運動部、ジュニアクラブ・運動部、大学運動部、企業・クラブチーム、トップアスリートに対し、引き続きその強化活動を支援 「みえコーチアカデミー」による優れた指導者の養成や、「みえマルチサポートシステム」による指導体制の構築の取組を引き続き実施 令和 2 年 4 月採用に向け、就職支援の取組を、競技団体、県体育協会とともに引き続き実施 <p style="text-align: right;">【競技力向上対策課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<p>③オリンピック・パラリンピックムーブメント全国展開事業</p> <p>・全国中核拠点である早稲田大学と連携し、推進指定校において、オリンピック・パラリンピック教育を実施するとともに、その内容や成果の発信</p> <p style="text-align: right;">事業費：1,168千円</p>	<p>・推進指定校地域セミナーを開催（8/29）</p> <p>※「推進指定校地域セミナー」</p> <p>オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の全国中核拠点である早稲田大学のオリンピック・パラリンピック教育センターから、推進指定校の担当者を対象に本事業の概要説明及び全国事例を紹介</p> <p>※「推進指定校」</p> <p>オリンピック・パラリンピック教育をモデル的に実施し、取組の内容や成果を実践報告会で発表、報告書を作成する。</p> <p>（木曾岬町立木曾岬小学校、鈴鹿市立桜島小学校、松阪市立松尾小学校、松阪市立殿町中学校、紀北町立紀北中学校、県立宇治山田商業高等学校、かがやき特別支援学校草の実分校の7校）</p> <p style="text-align: right;">【保健体育課】</p>	<p>・推進指定校において、オリンピック・パラリンピアンによる講演会等を開催。（10月から12月実施予定）</p> <p>木曾岬小学校・桜島小学校・松尾小学校 ・殿町中学校 紀北中学校・宇治山田商業 かがやき特別支援学校草の実分校</p> <p>※選手・指導員、詳細な日時については調整中</p> <p>・実践報告会の開催。（2月実施予定）</p> <p>※「実践報告会」</p> <p>オリンピック・パラリンピック教育の実践内容や成果を令和2年2月に県内8会場で開催する元気アップブロック別協議会の中で、公立小・中学校及び県立高等学校に対し、実践報告を行い、共有を図る。県立特別支援学校に対しては今後の取組の参考となるよう校長会にて報告を行う。</p> <p style="text-align: right;">【保健体育課】</p>
<p>2 障がい者スポーツの推進</p> <p>障がい者スポーツ推進事業</p> <p>・国内外の大会で活躍できる選手を発掘・育成するため、選手への練習プログラムの提供等を実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：2,739千円</p>	<p>・国内外の大会をめざす身体障がい者選手の発掘・育成に取り組んでおり、理学療法士、義肢装具士、競技指導者等が一体となり、選手へ練習プログラムを提供</p> <p style="text-align: right;">（8月末時点申請3人）</p> <p>・三重県在住の国内競技団体強化指定選手に対し、強化合宿や大会に参加する旅費を補助（8月末時点申請2人）</p> <p style="text-align: right;">【障がい福祉課】</p>	<p>・国内外の大会をめざす身体障がい者の選手に引き続き練習プログラムを提供し、選手の競技力向上を図る</p> <p>・引き続き、三重県在住の強化指定選手に強化合宿や大会に参加する旅費を補助</p> <p style="text-align: right;">【障がい福祉課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある子どもと障がいのない子どもが障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習に参加することで、障がい者に対する理解を促進 障がい者スポーツの普及と選手の育成を図るため、障がい者スポーツ指導員による実技指導の実施 在学中から運動・スポーツに親しみ、楽しみながら生涯にわたって運動・スポーツに取り組むことができるよう、ボッチャ等の交流試合を実施 <p style="text-align: right;">事業費： ー 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員向け障がい者スポーツ実技講習会開催（7月1日 13名参加） ・ 特別支援学校ボッチャ大会開催（9月9日） ・ 障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習の実施（各特別支援学校において適宜実施） 【特別支援教育課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者スポーツに係る出前授業等の実施 ・ 障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習の実施 【特別支援教育課】
<h3>3 文化の振興</h3> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国の文化芸術振興施策をふまえ、本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に発信するため、開館5周年の総合博物館や開館30周年・史跡齋宮跡指定40周年を迎える齋宮歴史博物館等において、周年を記念した特別展等を開催 <p style="text-align: right;">事業費：342,053千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立文化施設等の公演や展覧会、イベント等について「beyond2020 プログラム」の認証を受けることにより、文化庁が運営する文化情報ポータルサイト（多言語）を活用して国内外へ情報発信 【文化振興課、県立文化施設】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に向け発信するため、総合博物館の開館5周年記念特別展「三重の仏像～白鳳仏から円空まで」（10月5日～12月1日）及び、齋宮歴史博物館開館30周年記念・史跡齋宮跡指定40周年記念特別展「東雲の齋王大来皇女と壬申の乱」（10月5日～11月10日）を開催（特別展ともに「beyond2020 プログラム」認証事業） 【総合博物館、齋宮歴史博物館】
<ul style="list-style-type: none"> 「beyond2020 プログラム」の認証組織として、県内に拠点がある文化団体や企業等を対象に同プログラムの認証を行うとともに、活用促進に向けた取組を実施 <p style="text-align: right;">事業費： ー 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本県が認証した事業を県ホームページに掲載して情報発信するとともに、8月に開催した県・市町文化行政連絡会議で「beyond2020 プログラム」への申請について働きかけを実施 【文化振興課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、県内市町や文化団体等に対して「beyond2020 プログラム」の仕組みを活用して情報発信することのメリット等を説明し、活用を促進 【文化振興課】

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<p>4 農林水産業の振興</p> <p>①農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業</p> <p>・東京2020大会というビッグチャンスを見逃さず、大会における影響力の高いホテルや大会スポンサーと連携したプロモーションを展開し、県産農林水産物の認知度や評価を向上させる取組を実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：2,423千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリパラ三重県農林水産協議会全体会の開催(6/7) ・東京2020大会スポンサー企業である食品メーカーと連携し、県内量販店のべ100店舗において同大会調達基準であるGAP等認証食材を中心とした県産食材の活用を促進 ・同大会スポンサー企業である航空輸送事業者と連携し、セントレア発国際線機内食において、GAP等認証食材を中心とした県産食材の活用を促進 ・首都圏のラグジュアリーホテルを含む大都市圏の3ホテルと連携して三重県フェアを開催し、県産農林水産物の認知度や評価の向上を図る取組を展開 <p style="text-align: right;">【フードイノベーション課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会スポンサー企業と連携し、国際線機内食での県産農林水産物の活用の促進に係る取組を展開予定 ・首都圏等のラグジュアリーホテルと連携した三重県フェアを通じて、県産農林水産物の認知度や評価の向上を図る取組を展開予定 ・東京オリパラ三重県農林水産協議会全体会の開催予定(10,2月) <p style="text-align: right;">【フードイノベーション課】</p>
<p>②東京オリ・パラを契機としたみえの食材イノベーション事業</p> <p>・東京2020大会に関連するさまざまな場面において、県産食材が1品でも多く活用され、大会後に恒常的な取引へと発展させていくため、ケータリング事業者や首都圏飲食店等に戦略的プロモーションを実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：4,196千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カナダアーティスティックスイミングチーム歓迎レセプションにおいて、東京2020大会の食材調達基準を満たす(GAPやAEL等の認証を取得した)食材を使用した料理提供を通じて、県産食材のPRを実施(4/19) ・東京2020大会ホストタウンと県内農業高校等が連携した取組を対象とするコンテスト実施に係る県内説明会(選手に三重の食材を食べてもらおうプロジェクト!)の開催(6/26) <p style="text-align: right;">【フードイノベーション課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地視察・創作料理試食・商談・交流会の開催(10月) ・「選手に三重の食材を食べてもらおうプロジェクト!」の申請 <p style="text-align: right;">【フードイノベーション課】</p>
<p>②「広がれGAPの輪」推進支援事業</p> <p>・GAPの取組の拡大を図るため、指導員の育成や地域GAP推進チームによる認証取得支援、農業大学校での学習環境の整備、認知度を高めるPR活動等に取り組むとともに、有機JAS認証取得の支援などを実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：22,452千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GAP実践を推進・支援する指導員を育成するため、「JGAP指導員基礎研修を開催(6月6日・7日参加者16名、8月22日・23日参加者15名) ・GAP認証取得を指導・支援するリーダー指導員を育成するため、「団体認証研修」を開催(8月27日・28日参加者11名) ・GAPの実践や認証取得を推進するため、生産者等を対象とした研修会などを開催(6回、参加者152名(7月末時点)) ・地域GAP推進チームを核としたGAP認証取得や実践に向けた指導・支援(126回) ・三重テラスで「三重県GAP食材フェア」を開催(8月31日～9月16日) ・有機JAS認証取得を推進するため、「有機JAS制度入門研修」を開催(8月28日 参加者20名) <p style="text-align: right;">【農産園芸課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏飲食店において、三重県産GAP認証・農福連携野菜等を使ったメニューを提供する三重県フェアを開催(11月～3月) ・首都圏において、三重県産GAP認証・農福連携野菜等のマルシェを開催(11月～2月) ・有機JAS認証取得を推進するため、「有機JAS生産行程管理責任者育成講習会」を開催(11月) <p style="text-align: right;">【農産園芸課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・GAP認証の継続のため、県立農業高校5校で農産物の安全、環境への配慮などを理解する学習を実施するとともに、GAPの取組で得られた成果を生かした流通や販売に関する学習を推進 <p style="text-align: right;">事業費： ー 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・明野高校でG G A P継続審査が実施された。(7/26) ・福島県農業高校が三重県を訪問(8月26日～27日) ・三重テラスで行われたG A P食材フェアに参加(8月31日) <p style="text-align: right;">【高校教育課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・四日市農芸高校、久居農林高校、相可高校、伊賀白鳳高校でアジアG A P等の継続審査をする予定(9～11月) ・県立農業高校の生徒が、福島県立岩瀬農業高校を訪問予定(12月) <p style="text-align: right;">【高校教育課】</p>
<p>③東京オリ・パラに向けた三重の農産物販売力強化促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリ・パラにおける多様な需要に対して、米・野菜・花き花木等の県産農産物を供給するため、首都圏での関係事業者へのプロモーションなどの取組を実施 <p style="text-align: right;">事業費：2,662千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米について、首都圏における販売促進事業を委託する事業者(みえの米ブランド化推進会議)を選定 ・なばな冷凍商品について、全農三重県本部、加工事業者とケータリング事業者への供給体制づくりについて協議 <p style="text-align: right;">【農産園芸課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・米について、首都圏での知名度向上のため、米穀販売店、百貨店やケータリング事業者などを対象とした新たな販路開拓に取り組むとともに、事業終了後の継続的な販売につなげるため、既存の取扱事業者における販売拡大に取り組む。 ・花き花木について、首都圏の花きイベントへの出展等により、首都圏の緑化事業者等へのプロモーションを実施予定(2月) <p style="text-align: right;">【農産園芸課】</p>
<p>④東京オリ・パラへの畜産物供給体制構築事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリ・パラにおける畜産物への多様な需要に向け、高品質ブランド和牛の生産体制やエコフィード等の利活用によるE C O畜産物供給体制の構築等の取組を実施 <p style="text-align: right;">事業費：16,668千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産研究所で出生したプレミアム繁殖雌和牛候補牛(2頭)を繁殖農家へ譲渡(6月、8月)。県内繁殖農家への受精卵を配布する親牛として利用するための育成を実施 ・O P Uやと畜由来の体外受精卵移植技術の確立、体内受精卵等の乳牛等への移植や交雑種等の活用による和牛2卵移植技術の開発を継続。また、体外受精卵の保存期間を延長する基礎技術の開発を継続 ・昨年度実施した採卵鶏へのバナナ粉末給与試験の継続及び再現性の確認を実施(4月～) ・採卵鶏へのバナナ粉末給与試験の途中経過報告を行うとともに、廃棄物処理業者と飼料メーカーのマッチング調整を開始(8月) ・昨年度実施した肥育豚へのビール粕給与試験の結果を麦酒製造業者へ報告するとともに、麦酒製造業者と畜産農家のマッチング調整を開始(9月予定) ・子豚へのバナナ粉末給与試験の実施(8月～10月) <p style="text-align: right;">【畜産課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム繁殖雌和牛(2頭)の採卵、凍結保存及び受胎 ・体外・体内受精卵移植技術の開発を継続。また、受精卵の保存期間を延長する基礎技術の開発を継続 ・採卵鶏へのバナナ粉末給与試験の継続 ・肥育豚へのバナナ粉末給与試験の実施(11月～1月) ・「三重県エコフィード等利活用研究会」において、意見交換会及び現地検討会を実施(10月～) ・畜産研究所の試験結果を基にしたマッチング調整を実施 <p style="text-align: right;">【畜産課】</p>
<p>⑤J G A P家畜・畜産物等の導入加速化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜産のG A P取組の拡大を図るため、指導員等を育成するとともに、地域G A P推進チームを核として、生産者の認証取得等を効果的かつ効率的に支援 <p style="text-align: right;">事業費：5,013千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・J G A P家畜・畜産物等の認証制度を普及啓発 ・地域機関に設置した「地域G A P推進チーム」が中心となり、J G A P家畜・畜産物等の認証制度に取り組む農場に対し、取組状況に応じた指導・助言を継続して実施 <p style="text-align: right;">【畜産課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農場H A C C Pの認証取得農場あるいは取組農場に対し、「J G A P家畜・畜産物」の認証取得に向けた重点的な指導を「地域G A P推進チーム」が中心となり実施 <p style="text-align: right;">【畜産課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<p>⑥「もっと県産材を使おう」推進事業（一部）</p> <p>・東京オリ・パラを契機としたホテル等首都圏の施設改装等において、県産森林認証材等の採用等の需要拡大を見込み、引き続き首都圏での建築・建材関係の展示会への出展及び木材流通事業者等へのプロモーションを実施 事業費：1,108千円</p>	<p>・首都圏において、木材流通事業者及び建築物の木造・木質化の取組を推進している市役所を訪問し、県産木材のPRを実施（7月） 【森林・林業経営課】</p>	<p>・東京ビッグサイトで開催される「ジャパンホームショー」（11月）及び「WOODコレクション」（12月）に三重県ブースを出展し、県産木材のPRを実施 ・首都圏において、木材流通事業者及び家具メーカー、市・区役所等を訪問し、県産木材のPRを実施 【森林・林業経営課】</p>
<p>⑦東京オリ・パラに向けたみえの水産物販売力強化事業</p> <p>・東京オリ・パラを契機に、首都圏での県産水産物の販路拡大につなげるため、持続可能性を確保した漁業の認証取得等に向けた支援を行うとともに、食材調達基準を満たす県産水産物等の販売力強化等に向けた取組を実施 事業費：1,526千円</p>	<p>・首都圏における県産水産物のPRイベント等に向けて、対象魚種及び開催時期等について、漁協等の関係団体と協議を実施 ・水産エコラベル認証及びHACCPに関する研修会の開催に向けて、大日本水産会及び漁協、水産加工業協同組合等と協議を実施 ※7月26日に、鳥羽磯部漁協和具浦支所運営委員会によるワカメ養殖及び塩蔵加工が、MEL認証を取得 【水産資源・経営課】</p>	<p>・10月1日に、松阪市において、県内黒のり養殖業者を対象としたHACCPに関する研修会を開催 ・10月下旬に、首都圏スーパーのバイヤー等を対象とした、県産水産物のPR事業を実施予定 ・2月上旬に、東京豊洲市場において、市場関係者や首都圏の流通・飲食業関係者を対象とした、県産水産物の展示商談会を開催予定 ・11月に、県内養殖業者を対象とした水産エコラベルに関する研修会を開催予定 【水産資源・経営課】</p>
<p>5 三重県企業の参画に向けた支援</p> <p>・ISO-HACCP研修会（食品産業振興会による取組） HACCP義務化や東京オリンピック・パラリンピック、グローバル化への対応等を見据えた研修会を実施 事業費：—千円</p>	<p>・東京オリ・パラを契機とした食品関連事業者における販路拡大等対策の一環として、食品衛生管理を行う上で基礎となる「食品衛生7S研修会（入門・基礎編）※」を実施（8月28～29日、参加者：食品製造事業者等62名） ※食の安全・安心を守るための必須条件ともいわれる7S（整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌・躰・清潔）に関する基本的事項を習得するための研修 ・2018年6月に食品衛生法が改正され、原則すべての食品事業者にHACCPに沿った食品衛生管理が求められることから、食品衛生法改正のポイントやHACCPに沿った食品衛生の管理手法について研修会を実施（8月1日、参加者：食品製造事業者等32名） 【中小企業・サービス産業振興課】</p>	<p>・東京オリ・パラを契機とした食品関連事業者における販路拡大等対策の一環として、次の研修会を開催 ・食品の衛生管理手法であるHACCPなどに関する基礎的な知識を習得するため、「ISO-HACCP研修会」を実施（10月2日、10月9日、10月16日、10月23日、10月30日、11月5日、11月13日、参加者：募集中） ・食品の衛生管理技術（微生物検査）に関する知識を習得するため、「微生物検査実習会」を実施（11月19日、21日、参加者：募集中） ・賞味期限および消費期限等を適切に設定できるよう、「官能検査実習会」を実施（基礎編1月中下旬予定、参加者：未定）（発展編2月中下旬予定、参加者：未定） ・「食品衛生7S研修会（発展編）」（1月下旬予定、参加者：未定） 【中小企業・サービス産業振興課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<p>6 訪日外国人旅行者の誘致</p> <p>①海外誘客推進プロジェクト事業</p> <p>・インバウンドの拡大を図るため、「#visitmie キャンペーン」の展開による、個人の外国人旅行者（FIT）に向けたSNS等による情報発信やゴルフツーリズムの推進等により、欧米・アジアからの富裕層等を誘客 事業費：42,102千円</p>	<p>・FIT向け情報発信 Facebook（7言語8種）：週1回以上投稿 ※フォロワー数：約146,800人（7/31現在） Instagram（3言語）：週1回以上投稿 ※フォロワー数：約17,100人（7/31現在） 「#visitmieキャンペーン」第1弾：7/7～9/30実施 ※投稿数：約5,000件（9/4現在） 「ミシュランガイド愛知・岐阜・三重2019特別版」英語版Webサイトの公開（6/18～）</p> <p>・ゴルフツーリズム タイとのMOUに基づく交流事業の実施 ※121名のゴルフツアー客が来県（5/12～5/16） 「ゴルフツーリズムを活用した外国人高所得者層の地方への誘客促進事業」の実施（8月～1月） 〔（一社）みえゴルフツーリズム推進機構が実施〕 【海外誘客課】</p>	<p>・FIT向け情報発信 Facebook（7言語8種）：週1回以上投稿予定 Instagram（3言語）：週1回以上投稿予定 「#visitmieキャンペーン」第2弾：10/1～1/6実施予定</p> <p>・ゴルフツーリズム タイとのMOUに基づく交流事業の実施 ※パタヤゴルフフェスティバルに参加予定（9/28～10/2） ※フレンドリーゴルフツアーinパタヤの実施 （10/26～10/30） 〔（一社）みえゴルフツーリズム推進機構が実施〕 International Golf Travel Market 出展予定（10/14～10/17） 「欧米豪の高所得者層向けゴルフ訪日旅行創出事業（紀伊半島周遊事業）」の実施予定（11/10～11/15） 【海外誘客課】</p>
<p>②海外プロモーション推進事業</p> <p>・本県の認知度を高め、外国人旅行者の更なる誘致を図るため、海外での旅行博覧会出展、海外旅行会社へのセールス・商談会の開催、また旅行雑誌・TV等海外メディアを招請する取組を実施 事業費：15,001千円</p>	<p>・海外旅行博への出展 台湾・日本東海玩楽祭（7月） シンガポール・ジャパントラベルフェア（9月） マレーシア・MATTAフェア（9月）</p> <p>・海外旅行会社等へのセールス、商談会参加 台湾・セールス（6月）、タイ・セールス（7月） シンガポール・セールス（7月） タイ・近鉄商談会（9月）、台湾大商談会（9月）</p> <p>・メディア・旅行会社等による取材、視察の受入等 中国、タイ、フランス、台湾、豪州、米国、シンガポール、香港等（17件予定） 【海外誘客課】</p>	<p>・海外旅行博への出展予定 内容は未定</p> <p>・海外旅行会社等へのセールス、商談会参加予定 VISITJAPAN トラベル&MICE マート（10月、大阪） VISITJAPAN Travel Mart 2019 -ASEAN INDIA-（11月、常滑） 東南アジアランドオペレーター商談会（1月、三重）</p> <p>・メディア・旅行会社等による取材、視察の受入等予定 台湾、香港、インド、シンガポール、欧米豪等 【海外誘客課】</p>
<p>③三重県版観光スマートサイクル確立事業</p> <p>・スマートフォンを使ったアンケートにより観光客の動向やニーズ等を把握する「スマホでみえ得キャンペーン」を展開し、サービス向上や商品開発等、戦略的なマーケティングを推進 事業費：24,690千円</p>	<p>・「答えてラッキー！ スマホでみえ得キャンペーン」の実施（8/8～2/29）【観光魅力創造課】</p>	<p>・「答えてラッキー！ スマホでみえ得キャンペーン」の実施（8/8～2/29）</p> <p>・インバウンド向け観光PR動画の作成・配信 【観光魅力創造課、海外誘客課】</p>
<p>④国内誘客推進事業</p> <p>・持続的な三重県観光の基盤強化のため、観光情報の発信と誘客促進の取組を一体的に展開 事業費：10,887千円</p>	<p>・「ツーリズム EXPO ジャパン 2019」における忍者文化等のPRに向けた調整 【観光魅力創造課】</p>	<p>・「ツーリズム EXPO ジャパン 2019」において忍者文化等をPR（10/24～10/27、大阪） 【観光魅力創造課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<p>⑤クルーズ船寄港に向けた受入体制の充実・強化事業</p> <p>・外国クルーズ船寄港時における受入体制の充実・強化及び県内各地への誘客促進に向けた取組を実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：2,305千円</p>	<p>・外国客船「ダイヤモンド・プリンセス」が四日市港、鳥羽港に寄港（四日市港4月・7月、鳥羽港4月・8月・9月）</p> <p>・外国客船「EOUROPAⅡ」が鳥羽港に初寄港（5月）</p> <p>・外国客船「クリスタル・エンデバー」が令和2年9月に鳥羽港へ初寄港することが決定（6月）</p> <p>・（一財）みなと総合研究財団のクルーズ総合研究所が設立した全国クルーズ客船誘致受入連絡会に加入（6月）</p> <p>・クルーズ船寄港時の通訳ボランティアの募集・活用、オプションツアー造成に向けた船社等への提案など（随時） 【観光魅力創造課】</p>	<p>・外国客船「ダイヤモンド・プリンセス」が鳥羽港に寄港予定（11月、12月、3月）</p> <p>・クルーズ船寄港時の通訳ボランティアの募集・活用、オプションツアー造成に向けた船社等への提案など（随時） 【観光魅力創造課】</p>
<p>⑥三重県版バリアフリー観光推進事業</p> <p>・パーソナルバリアフリー基準による、三重県版バリアフリー観光が浸透するよう、同基準による調査やアドバイス及び観光ボランティアに関するスキルアップを目的としたバリアフリー研修を実施し、障がい者や高齢者、外国人でも安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを推進</p> <p style="text-align: right;">事業費：2,064千円</p>	<p>・宿泊施設等との調整 【観光政策課】</p>	<p>・県内の宿泊施設を対象として、バリアフリー・インバウンド対応状況の調査及び施設管理者へのアドバイスを実施予定（年間10施設以上）</p> <p>・県内で活躍する観光ボランティアを対象として、バリアフリー研修を実施予定（北勢・伊賀・東紀州の中から2地域以上） 【観光政策課】</p>
<p>7 東京オリ・パラの気運醸成</p> <p>・「スポーツを通じて元気な地域社会をつくるために」を、平成31年度の全庁をあげて積極的に情報発信に取り組む「重点広報テーマ」としており、スポーツに関する県事業の広報を行う際に「東京オリ・パラ」のキーワードを活用した広報を実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：－千円</p>	<p>・東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ地誘致や聖火ランナーの募集、各種イベント等において、多様な媒体での「東京オリ・パラ」の広報を実施 【広聴広報課】</p>	<p>・各事業・取組に合わせて、「東京オリ・パラ」の広報を実施 【広聴広報課】</p>
<p>太平洋岸自転車道の整備・PR</p> <p>・太平洋岸自転車道推進協議会にて決定される統一的な仕様を勧案し、県管理道路の太平洋岸自転車道において、自転車通行空間の整備を行うとともに、官民連携による取組等を実施</p> <p style="text-align: right;">事業費：50,000千円</p>	<p>・太平洋岸自転車道推進協議会にて決定された統一ロゴ、整備仕様について関係機関と共有し、官民連携した取組を推進する。 【道路企画課、道路管理課】</p>	<p>・統一ロゴ、整備仕様等に基づき、自転車走行における受入環境の整備を行うとともに、官民連携による太平洋岸自転車道の情報発信を行う。</p> <p>・県内の自転車イベントを通じて、太平洋岸自転車道をイベント参加者に対してPRする。 【道路企画課、道路管理課】</p>

令和元年度取組概要	令和元年度上半期（4月～9月）の取組	下半期（10月～3月）の取組予定
<p>8 国への提言・提案、要望活動</p> <p>・令和2年度国への提言・提案、要望活動を実施</p> <p style="text-align: right;">事業費： － 千円</p>	<p>5月15日、16日に国への提言・提案活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会など大規模スポーツ大会の終了後における地域スポーツの推進に向け、大会で活躍した選手の地域スポーツでの活躍の場の確保やホストタウンの取組に係る国の財政支援制度の継続などについて、国への提言活動を実施 【総務企画課ほか】 ・東京2020大会における真珠の利用促進や大会を契機とした国際水準GAPの認証取得促進など、グローバル化に対応する強い農林水産業の構築に向けた支援の充実・強化について、国への提言活動を実施 【農産園芸課、畜産課、森林林業経営課、水産資源・経営課ほか】 ・地方への更なるインバウンド誘致のため、ゴルフツーリズムのビジネスモデル確立に向けたモデル事業や、新たなモビリティサービスの推進に向けたMaaS実証実験事業の採択に向け、国への提言活動を実施。いずれの事業も採択された。【観光政策課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じ、要望活動を実施
<p>9 その他</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックに関連する情報の収集を的確に行うとともに、首都圏における三重県の情報発信がよりスムーズに、より効果があげられるように、適切なサポートを実施</p> <p style="text-align: right;">事業費： － 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏において発信される関連情報の収集を実施 【東京事務所】 	<ul style="list-style-type: none"> ・関連情報の収集を継続するとともに、大会を契機に実施する三重県の情報発信について、担当部局と連携しながら、首都圏での活動をサポートする。 【東京事務所】